

第6回 第2次三遠南信地域連携ビジョン策定委員会 議事概要

日時 平成31年2月13日(水) 14:00~16:00 出席者 別紙のとおり

場所 サラシティ浜松 3階 スクエアA



1 開会

2 委員長あいさつ

【委員長：静岡文化芸術大学 池上副学長】

- ・昨年から1年半にわたり議論を重ねてきたが、今回が、最後の策定委員会となる。
- ・この間、策定委員会や三遠南信サミットに参加し、この地域に住む方々のこの地域への想いを知った。
- ・このビジョンができた後の動きが大切である。皆様の思い残しのないようにご意見をいただきたい。

[事務局からの確認]

本日の委員会は報道公開し、議事要旨についても公開するので、了承いただきたい。

4 ビジョン(最終案)について (進行：委員長)

【三遠南信住民ネットワーク協議会：平川世話人】

左開きの横書きの冊子の場合、右ページから1ページ目が始まるのが通常である。

【事務局】

修正する。

○第2章 本地域の現状

【豊橋市：広田部長】

データを巻末に移動すべきという意見に対応をしていただいたが、第2章の産業のデータが少ないので、附属資料に移動したデータのうち、工業、農業などは、第2章にあってもよいのではないだろうか。

【事務局】

修正する。

【三遠南信住民ネットワーク協議会：平川世話人】

P10が空白なのは、ミスか。

【事務局】

次ページ以降を見開きにするために、あえて空白としている。

○第4章 地域連携の方針

【委員長】

LGBTに関するパブリックコメントがあった。それに対して、表現を少し修正しているが、浜松市や豊橋市の計画等のLGBTに関する記載との整合性はどうか。

【事務局】

浜松市の男女共同参画基本計画では、「多様な性のあり方についての理解の促進を図ります。」と記載があり、豊橋市のハーモニープランでは、「LGBT 等性的少数者に対する理解促進と支援」と記載があり、それぞれの方向性との整合はとれていると考える。

【委員長】

LGBTは、「性的指向」だけでなく「性自認」もセンシティブな問題となっている。パブリックコメントの意見もあるし、「性自認」という単語を追加してはどうか。

【事務局】

修正する。

○第5章 重点プロジェクト

【地域づくりサポートネット：山内代表】

昨年12月2日に、長野県の遠山郷から天竜区まで、約82kmを電動スポーツ自転車で走るイベントを行った。その際の写真があり提供するので、可能であれば掲載をお願いしたい。

【事務局】

修正する。

○第6章 推進体制・スケジュール

【豊橋市：広田部長】

P32のプラットフォームの図は、まだ分かりやすいとはいえない。既に何回か書き直しをしているが、可能であればもう一度検討してもらいたい。

【事務局】

もう一度検討してみる。

○附属資料

【三遠南信住民ネットワーク協議会：平川世話人】

農業や漁業は産出量データであるが、P50の林業は森林面積のデータであり、林業という項目のデータとしては違和感がある。また、地図に黒い部分の凡例はないが、何を指しているのか。

【事務局】

黒い部分は、森林面積の枠線であり、面積が小さすぎると黒く表示される。産出額データへの変更も含めて一度修正を検討する。

【三遠南信住民ネットワーク協議会：平川世話人】

P52 の道路図の凡例について、IC とスマート IC を 1 行で表示しているが、2 行で分けて表示してはどうか。また三遠南信自動車道の東栄 IC～佐久間川合 IC が開通するので反映させてはどうか。また、計画・構想とあるが、事業化に着手している区間もあるため、分けて表示してはどうか。

【事務局】

修正に向けて検討する。

【地域づくりサポートネット：山内代表】

サイクリングについては、県を挙げて取り組んでいるところもある。どこかで県境を越えた自転車ルートを図に入れてほしい。例えば、P52 の道路網など、内容が少し異なるかもしれないが、御前崎から渥美半島までの県境を越えたルートを入れてほしい。

【事務局】

修正に向けて検討する。なお、南北の県境を越えるルートはあるか。

【地域づくりサポートネット：山内代表】

決まったルートはない。

【磐田商工会議所：鈴木専務理事】

P55 の鉄道網の図について、平成 31 年度末に、袋井駅と磐田駅の間に、御厨駅（みくりやえき）という新駅が設置される予定である。それも記載してほしい。

【事務局】

この図は、1 日平均乗降客数が 5 千人以上の駅のみ掲載をしており、既設の駅でも記載されていないものもある。

【磐田商工会議所：鈴木専務理事】

JR との協議の中で、1 日の乗降客数の見込みが示されていると記憶している。磐田市と協議していただき、可能であれば記載してほしい。

【委員長】

本日、修正点が多くあったため、もう一度事務局で検討をしていただき、改めて書面で確認をするということでどうか。

【事務局】

承知した。

4 講評

【法政大学：高柳教授】

この1年半、策定委員会やサミットに参加し、議論は有意義であったと感じた。多岐にわたるビジョンであるので、全てとはいかなくても、出来る部分から形になると良い。

専門が歴史学のため、計画や政策に関する会議へこれまで参加したことが無く、良い経験となった。また、この間に、三遠南信の出版文化に関するシンポジウムを職場で開催したり、この地の歴史や文化をめぐるバス旅行に参加したり、三遠南信地域について学んだり考えたりする機会を与えていただいたことに感謝したい。

【愛知大学：戸田教授】

新ビジョン全体の講評として、大きく3点あげる。1つは、第1次ビジョンから人口減少が切実な問題になっており、身の丈にあった内容になっていること。2つは、リニア中央新幹線や三遠南信自動車道が現実になってきて、このビジョンの中でインフラに関する方向性が示されていること。3つは、明確な推進体制が示すことができなかつたこと。これは越境計画では一番の課題であり、プラットフォームの考え方についてももう少し深く記載ができると良いと思う。

また、今後のことについて3点あげる。1つは、軽トラ市など、三遠南信地域内で既に行われている取組をつなげるだけで発展するものが多数あるので、形にできると良い。2つめは、新ビジョンのPRが重要で、「三遠南信 Biz」のようにきちんと地域内で共有ができるようにしてほしい。3つめは、「日本の県境連携先進モデル」として、三遠南信地域だけでなく他の越境地域への波及と共同ができると良い。

個人的な感想としては、策定に関わる中で大学の限界と可能性を感じた。行政、経済の方々もそれぞれ限界を感じているところもあると思うが、その限界に挑戦していくという可能性があるのではないかと思う。

【地域づくりサポートネット：山内代表】

第1次ビジョンの策定にも参加していた。新ビジョンでは大きなテーマは同じだが、重点プロジェクトなど個別の取組については、すでに動いているものや、ステークホルダーの存在するものをベースに作られており、第1次よりは踏み込んだものになっていると感じている。

また、第1次ビジョンからの10年間で、三遠南信地域の連携を支えていた住民団体の方が体力の衰え等で少なくなっている。地域おこし協力隊など、あらたな主体の掘り起こしをしなければいけないと思う。

福島自動車道の域内周遊などを考える会議に参加している。そこでは、震災後に早急に整備が進んだため、新たな連携の形ができたばかりであり、三遠南信地域のような連携の蓄積の重要性を感じた。

また、中部横断道でも南北軸ということを考えているが、中部横断道の方が完成が早いため、日本の南北軸という国内へのPRは負けないようにしないといけないと考えている。

【三遠南信住民ネットワーク協議会：平川世話人】

この策定委員会に、住民団体からは委員として3名が参加した。この会議は報道公開しているとはいえ、もっと多くの市民の方が傍聴に参加し、どのような議論が行われているのかが分かるような会議であればよかったと思う。

新ビジョンがきちんと形になるようにならなければならないし、住民団体としてもどのようなことができるか考えながら参加していた。それに関し、行政の計画は完成した際に広報がされるが、その後はあまり広報されている印象がない。今後、新ビジョンを推進していく中で、その取組や考え方などを市民にも周知することが大事である。例えば、市町村の広報誌で定期的にお知らせをしたり、新ビジョンに関する勉強会をしたりしてはどうか。

【駒ヶ根商工会議所：富永専務理事】

このような計画は、策定までの議論の過程も重要だと思っており、そこに関らせていただき感謝する。新ビジョンに掲載のある取組を、まずは地元で広報し、どのように関わることができるかを考えていきたい。

【新城市商工会：山本事務局長】

新城市は過疎、高齢化が進んでいる地域であるが、新ビジョンの中から取り入れることのできるものは中小企業事業者に取り入れていきたい。

三遠南信地域でのビジネス交流会を開催し、地域の企業のPRをしてはどうかと考えている。観光や中山間地域の発展のために新ビジョンの実現に向けて取り組んでいきたい。

【磐田商工会議所：鈴木専務理事】

三遠南信地域には、全国軽トラ市の開催地となった場所が3か所もあり、他にはない特徴を活かしていければと思う。また軽トラ市だけではなく、イベント全般で三遠南信地域の交流が進むようにPRができると良い。

静岡県は御前崎や牧之原までがSENAに入っており、磐田から東側は、三遠南信への関心に少し温度差を感じる。三遠南信地域全体を巻き込んでいけると良い。

【豊橋商工会議所：小林専務理事】

これまでの積み重ねてきたプロセスを活かせるよう、今回のビジョンを踏まえ、個々の行政、会議所・商工会らがそれぞれの事業計画の中に取り組み、実行してもらうことを期待したい。一番肝心の「連携」の部分については、これからが本番であり、ビジョンの進展に合わせ三遠南信地域の各方面における繋がりが深化していくことを期待している。

「稼ぐ」に繋がる経済面での商品サービスや観光振興における鉄道やサイクルツーリズム等の活動についても、地域一体となりしっかり取り組んでいきたい。

【浜松商工会議所：小杉専務理事】

人口減少社会では、市町村や県の境は関係なく広域連携を意識する時代である。三遠南信地域の行政、経済団体、住民などあらゆる主体が、少しずつでもいいのでビジョンを進められるように、きちんと進捗管理をしながら、浸透を図っていきたい。

【飯田商工会議所：福澤専務理事】

近い将来には三遠南信自動車道やリニア中央新幹線が完成し、その効果について楽しみにしているところである。商工会議所としても、新ビジョンにもある、観光業や農商工連携の取組を進めていきたい。

【愛知県：矢野部長】

新ビジョンのスタート後は、事務局が進捗管理をすることはもちろんのこと、各関係者が、新ビジョンをうまく使いながら進めていくことが重要である。

この策定委員会には、県としてどのように関わっていけばよいか考えながら参加していた。3県の地域事務所の情報交換も行っているが、そのような小さな連携を積み重ねることで大きな連携が見えてくると思う。

【長野県：保科企画幹】

新ビジョンの内容を杓子定規に実行するのではなく、基本的な考え方やこれまでの議論をきちんと意識しながら進めることが重要である。私の生まれた伊那市の集落では、毎年秋葉神社への参拝を行っているという縁がある。この地域の方々がつながってどれだけ行動を起こせるかが鍵である。

【静岡県：竹馬主査】

この委員会では、委員の方々による活発な意見交換がなされ、ビジョンを策定する上で有意義な場となったと思う。多くの方の意見を取りまとめるのは大変だったと思うが、その分素晴らしいビジョンになったのではないかと思う。

【飯田市：串原課長】

SENA の事務局に任せるだけではなく、例えば、飯田線のサイクルトレインの取組など、プラットフォームづくりに寄与するような動きをしていきたい。

【浜松市：内藤部長】

今回が最後の策定委員会となるが、最終決定までは時間があるため、良いビジョンになるように最後まで事務局には頑張ってもらいたい。

新ビジョンのキーワードは、プラットフォームだと思っている。全ての主体が足並みを揃えるわけではなく、共通の課題を持つ主体で取組んでいくために、産学官民が力を合わせて新ビジョンを進めていくことができれば良いと思う。

【豊橋市：広田部長】

新ビジョンを進めるにあたり、個々の事業の実施や進捗管理も重要であるが、もう1度三遠南信地域連携が始まったころの熱い気持ちを思い出して、様々なことに取り組んでほしいと思う。

【委員長】

私はもともと、インドネシアを中心とした文化人類学が専門であり、多文化共生の分野で教育、研究を行っていた。この会の委員長を務めるまでは、広域連携や政策提言に関わる機会はなかったが、この会議やサミットに参加し、この地域に住む方々の想いに触れ、三遠南信という言葉が意味のある一つのまとまりであることを知った。

私は北海道の出身であるため、三遠南信地域の連携が無理のある範囲のものだとは感じないし、ましてや歴史的なつながりもある。本学の初代学長である、木村尚三郎先生は、「振り返れば未来」という言葉を残しており、塩の道などのこの地域の連携の歴史を見つめなおすことで、新たな時代を築く気づきがあるのではないかと思う。

本学では、来年度から文明観光学コースが新設され、その立ち上げに伴い本年度から新たな教授を招いている。その教授が言うには、三遠南信地域には歴史の深みがあり、観光の資源がたくさん埋まっている、とのことであった。文明観光学という学問は他に類を見ず、まだ内容は定まっていないが、観光に関わる中で地域の方が輝くような貢献をしたいと考えており、皆様と本学の学生が関わらせていただく場面があるかと思うがご協力をお願いしたい。

4 その他

5 閉会

第6回 第2次三遠南信地域連携ビジョン策定委員会 出席者名簿

分類	団体	役職	氏名	備考
委員長	静岡文化芸術大学	副学長	池上 重弘	
委員	法政大学	教授	高柳 俊男	
委員	愛知大学	教授	戸田 敏行	
委員	浜松市	企画調整部長	内藤 伸二郎	
副委員長	豊橋市	企画部長	広田 哲明	
委員	飯田市	企画課長	串原 一保	代理
委員	静岡県	総合政策課 主査	竹馬 徹	代理
委員	愛知県	東三河総局 企画調整部長	矢野 浩二	
委員	長野県	総合政策課 企画幹	保科 千丈	代理
委員	浜松商工会議所	専務理事	小杉 和弘	
委員	磐田商工会議所	専務理事	鈴木 隆之	
委員	豊橋商工会議所	専務理事	小林 和夫	
委員	新城市商工会	事務局長	山本 政義	
副委員長	飯田商工会議所	専務理事	福澤 栄二	
委員	駒ヶ根商工会議所	専務理事	富永 満	
委員	地域づくりサポートネット	代表	山内 秀彦	
委員	三遠南信住民ネットワーク協議会	世話人	平川 雄一	

分類	団体	役職	氏名	備考
オブザーバー	浜松いわた信用金庫	法人営業部 副部長	井口 浩利	代理
オブザーバー	豊橋信用金庫	理事・事業支援部長	渡邊 寛司	
オブザーバー	国土交通省中部地方整備局	企画部広域計画課長	兵藤 真	
オブザーバー	国土交通省中部運輸局	交通政策部計画調整官	田中 範明	
オブザーバー	経済産業省中部経済産業局	地域振興室地域振興係長	萩田 弘朗	代理
オブザーバー	農林水産省関東農政局	企画調整室室長補佐	中村 浩一郎	
オブザーバー	農林水産省東海農政局	農村計画課・課長補佐	稲垣 晴晃	代理